

事例 38

小学校での道路に関する授業

DATA
 場 所：岩手県大船渡市・釜石市・宮古市
 実 施 者：三陸国道工事事務所 地域づくり相談室 [TEL (0193) 71-1720]
 参 加 者：大船渡市・釜石市・宮古市の小学校の学童と生徒
 実 施 日：平成11年6月15日・10月12日・10月20日 平成13年2月19日
 学習時間：1～2時間

関係する分野
 環境 交通 社会 地域 歴史 福祉 健康

背景

地域の方々の関心が高い大船渡三陸道路や仙人峠道路の事業を題材として、道の歴史や道路のつくり方、地域と道路との関わりなどを総合的に学習する機会となりました。

内容

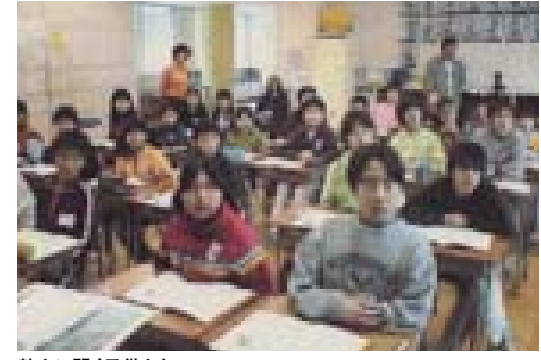
参加した小学生に対して大船渡三陸道路や仙人峠道路の必要性や整備効果を説明するとともに、現在行っている工事の進捗状況などについて、分かりやすい言葉を用いて説明をしました。内容として、国土交通省で推進しているITS(高度道路交通システム)をイラストなどを用いての説明や「仙人トンネルと未来の道路」と題した講演を行い、子ども達に明るい未来づくりの事業を紹介しました。



児童の質問も多く、実りある特別授業となりました



イラストを用いて分かりやすく説明



熱心に聞く子供たち

ポイント

- 身近な工事現場について説明することによって、子ども達の公共事業に対する理解を深めてもらうことが出来ました。
- 児童の疑問や質問を重視し、質問に答えながら話題を広げていく工夫をしています。
- 道の歴史から、現在、将来の道路へと興味や夢が持てる内容としています。
- ビデオ、イラスト等を用いて、子ども達が興味を持つようしました。

成果

子ども達に公共事業及び道路整備に対する理解を深めてもらうことができました。また交通安全について考えてもらうことができました。授業の様子は、広報紙「三陸国道ニュース」に掲載しました。

特別授業の様子を紹介した広報紙「三陸国道ニュース」

甲子小学校で特別授業を行いました

2月19日(月)釜石市立甲子小学校で、坂本監督官が「仙人峠道路と未来の道路」のテーマで特別授業を行いました。

授業は、仙人峠道路のあらましや、仙人峠トンネルの工事現場ビデオを用いて作業内容を説明するとともに、現在の道路状況(橋長3,200m 幅員2,390m)も説明しました。

また、今後の交通量の増加に伴い、学区内を通過する工事車両も増えることから、並下校や休校日、なども指導員の指示に従うよう指導も行いました。

その他に未来の道路交通として、ITS(高度道路交通システム)のうち、路上障害物検知防止、フラフラ運転検知防止と衝突防止対策等についてもイラストで説明しました。

最後に双方向コミュニケーションとして、「道路質問コーナー」も行う予定です。

○トンネルは一日の作業で約100m進む。深い岩盤は深く掘れます。
 ○トンネル工事には多くの人が働いているか
 答 全体では100人程、トンネル内はそれぞれのトンネル(掘削機、本機)で7人が交代で働いていますので、30人程になります。
 ○工事の進捗はどのくらいか
 答 1m掘るのに約250万円かかります。
 ○高速道路が出来ることになると何が出来るのか
 答 高速道路が出来ることにより、はやく進むことが出来るので、地域の活性化につながります。

今後とも、報告学習の一環として積極的に取り組むと考えています。

5年 特別授業の様子、
 さんぽくしんじょうの仙人峠トンネル工事現場を歩く様子。

盛小学校で「高速道路と夢」について特別授業を行いました

去る6月15日(水)に大船渡市立盛小学校の4年生と5年生の85人を対象に建設省で推進しているITS(高度道路交通システム)の紹介、スマートウェイの紹介、スマートウェイのイラストを参考にしながら、専門知識を伝えるだけでなく、子ども達にわかりやすく説明を交えながら、理解促進を図りながら特別授業を行いました。

特に「ハンドルから手を離して安全運転」という事で自動車の自動運転が実現した際の30歳以上になるまでには出来ないからと説明した時は、子ども達が驚いて見えました。

この授業は、盛小学校の学童の居場所、学童の共通の居場所(下校)の場として盛小学校の通学路を工事現場として活用したことから、工事安全対策委員との話し合いにより、盛小学校のトンネル見学や交通安全学習を行いました。

このような関係から、当時の主任監督官・建設監督官、坂本監督官の責任感のような形で実施しました。

今回は仙人峠道路で同じような状況にある釜石市立大船小学校でも実施の手配です。盛地区でも要望があれば、出向いて対応します。連絡を待っています。

盛小学校の皆さんは、大船小学校の皆さんは10月まで待って下さい。

授業の質問も多く、実りある特別授業となりました

「仙人トンネルと未来の道路」

～釜石市立大船小学校で124周年記念行事特別授業が開催されました～

10月12日(水)に釜石市立大船小学校で124周年記念行事の一環として、三陸国道工事事務所の坂本監督官が特別授業を行いました。

この授業は仙人峠トンネル工事現場で、現地で新しい工事現場を視察する計画があるため、大船小学校の皆さんに交通安全についての教育をお願ひするため、実施したものです。

授業は「仙人峠トンネルと未来の道路」と題して、建設省の新しい道路事情や、釜石地方が高速交通体系の進捗で進んでいることから仙人峠道路を建設していることを説明しました。

次に未来の道路としてITS(インテリジェント・トランスポート・システム)について、イラストを参考に説明しました。ITSについては、自動運転ができるようになることなどを説明しました。

最後に大船小学校の方向で「力強く進めよう」を大きく掲げて下さいとお願ひして終わりました。

磯崎小学校で「道の歴史」勉強会

～1年生からITSまで～

10月20日(水)に宮古市立磯崎小学校で、「道路に関する勉強会」を開催して欲しいとの依頼があり、三陸国道の中村地域づくり担当が特別授業を行いました。

磯崎小学校の4年生2クラス49人は歴史の道45、100年道の道になった仙北の道についての勉強会を行いました。

ことで、学童は歴史の道についての勉強をするということになり、今回の授業となりました。

授業では、仙北の道から、現在の道路までの三陸地方の道の歴史、そして三陸国道自動車道など、現在建設中の道路について説明しました。

また、道路の作り方を学びたいということで、橋やトンネルの工事の仕組みなどを、パソコンで取り込んだ動画がポイントで説明しました。

これからの道路交通として、ITSの紹介で授業を終わりましたが、最後はこの特別授業のお礼として、今度学童発表会で発表するという子ども達の報告を聞いていただきました。

次のステップに向けて

- ものづくりの大切さや、道路と生活との関わりについて考えるきっかけになったと思います。道路の歴史を学ぶことで、自分の地域の歴史を見つめ直すきっかけになったと思います。
- 道路改良などの大きな事業が、地域にもたらす影響を考え、地域づくりへどう活かされていくべきか考えることも大切です。子供たちが夢を持ち、その実現へ取り組んでいければと思います。